

1 1 感染症予防

◆ 感染症予防

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）に基づき、感染症に対して患者の人権を尊重しつつ迅速かつ適切に対応し、感染症に関する正しい知識の普及、情報の収集、整理、分析及び提供を行った。

(1) 感染症対策

感染症法に基づいて、感染症の発生の予防及びそのまん延防止のため健康診断、消毒指導などを行った。感染症発生動向調査等により感染症に関する情報を収集し、医療機関等へ情報提供を行うことで、正しい知識の普及に努めた。

ア. 感染症発生状況

感染症法で定める全数把握感染症の届出状況は、表1から表3のとおりである。

なお、一類感染症及び二類感染症（結核を除く。）の届出はなかった。

表1 三類感染症の届出状況 (件数)

感染症名	令和5年	令和6年
腸管出血性大腸菌感染症	14(—)	25(1)

注：()は、推定される感染地域が海外の場合の再掲

表2 四類感染症の届出状況 (件数)

感染症名	令和5年	令和6年
A型肝炎	—	1(1)
重症熱性血小板減少症候群	1	1
つつが虫病	2	—
日本紅斑熱	—	1
レジオネラ症	15	7
計	18(—)	10(1)

注：()は、推定される感染地域が海外の場合の再掲

表3 五類感染症(全数報告)の届出状況 (件数)

感染症名	令和5年	令和6年
アメーバ赤痢	2	3(1)
ウイルス性肝炎	1	—
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	4
急性脳炎	3	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	—	8
後天性免疫不全症候群	1	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	2
侵襲性髄膜炎菌感染症	—	1
侵襲性肺炎球菌感染症	9	4
水痘	4	—
梅毒	44	43
播種性クリプトコックス症	—	4
百日咳	2	7

感染症名	令和 5 年	令和 6 年
麻しん	1	—
計	72	79(1)

注：()は、推定される感染地域が海外の場合の再掲

イ. 集団発生状況

インフルエンザ様症状による学級閉鎖等の防疫措置（令和 6 年度中 2024/2025 シーズン）は、令和 6 年 9 月 2 日から実施された。令和 6 年度末日までの、市内での学級閉鎖等の発生は表 4 のとおりである。なお、令和 5 年度以前のシーズンの状況は、表 4 のとおりである。

表 4 インフルエンザ様症状による防疫措置状況（延べ数）（2024/2025 シーズン）

施設区分	施設数				患者数	欠席者 (再掲)
	計	休校	学年閉鎖	学級閉鎖		
保育所	—	—	—	—	—	—
幼稚園	—	—	—	—	—	—
小学校	32	—	3	29	466	386
中学校	13	—	—	13	158	128
高等学校	7	—	—	7	175	154
その他	1	—	1	—	2	1
計	53	—	4	49	801	669

注：シーズンの年度末までの状況

表 5 過去のインフルエンザ様症状による防疫措置状況（延べ数）

シーズン	2019/2020	2020/2021	2021/2022	2022/2023	2023/2024
施設数	103	—	—	7	287
患者数	1, 244	—	—	73	4, 697
欠席者(再掲)	1, 109	—	—	69	4, 189

注：各シーズンの年度末までの状況

ウ. 感染症の発生動向調査及び情報提供

感染症に関する情報を医療機関（指定届出機関・指定提出機関）から収集し、基幹地方感染症情報センターで分析した結果を医療機関、教育委員会、市民等に提供した。

【指定届出機関 12 医療機関】

区分	定点数
小児科定点	9
インフルエンザ／新型コロナウイルス感染症定点	9
眼科定点	2
S T D (性感染症) 定点	4
区分	定点数
基幹定点	1
疑似症定点	2

【指定提出機関 1 医療機関】

区分	定点数
病原体定点	3

エ. 一般市民への啓発

感染症に関する正しい知識を普及するため、出前講座を実施した。

表 6 出前講座実施状況

内容	受講者	対象者
感染症予防	1 回 34 人	高齢者クラブ

(2) 特定感染症予防対策

エイズを含めた性感染症の予防対策として、検査及び知識の普及啓発を実施した。

ア. エイズ等検査及び相談

HIVと梅毒の2種類の検査を実施。令和6年度の新たな取り組みとしては、HIV検査普及週間、豊田市エイズ予防啓発に合わせて休日検査を実施し、加えて、あいち電子申請システムによるネット予約を開始した。HIV検査での判定保留者は6名、うち確認検査で陽性者となったものは2名であった。

表 1 検査及び相談件数等

(令和6年度)

検査回数			検査人数及び結果（延べ）				H I V相談件数 （延べ）
			H I V		梅毒		
昼間	夜間	休日	陰性	陽性	陰性	陽性	来所・電話
14	12	2	540	2	512	30	9

イ. 普及啓発事業

6月1日～7日の「HIV検査普及週間」及び11月25日～12月25日の「豊田市エイズ予防啓発月間」を中心に、HIV／エイズを含めた性感染症予防のため、以下の啓発事業を実施した。

内容	協力機関	実績
レッドリボンツリー設置	国際ソロプチミスト豊田	市役所及び市内ホテル計3か所にレッドリボンをアレンジしたツリーの設置(11月25日～12月25日)
豊田スタジアムライトアップ		12月1日の世界エイズデーにあわせて赤色のライトアップを実施
啓発ステッカー・カードの作成・配布	豊田加茂薬剤師会、市内大学等	・オリジナルの啓発ステッカー・カードを作成 ・協力機関にステッカーの貼付及びカードの設置を依頼
郵送検査キット送付		郵送でHIV・梅毒検査が実施できる検査キットを市内の希望者計73名に送付
啓発ポスター・チラシ等の掲示	基幹バス会社、市内高校・大学等	・基幹バス57車両へのポスターを掲示 ・市内高校・大学へ啓発ポスター送付 ・二十歳のつどい対象者へ電子チラシによる啓発を実施 ・市役所及び街中、協力機関のデジタルサイネージ等による啓発を実施
性風俗産業への啓発	豊田警察書	無店舗型性風俗店事務所への啓発(警察同行協力)
若者(10代・20代)への啓発	市民活動団体	活動を通じて啓発カード、感染症予防ちらしを配布

ウ. 肝炎ウイルス対策事業

感染症法に基づき、陽性者を早期発見し、早期治療に結びつけるため、市内在住で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがなく、肝炎に対する感染不安のある方に対し、市内の協力医療機関において、B型・C型肝炎ウイルス検査を実施している。

表2 肝炎ウイルス検査実施状況

年度	2	3	4	5	6
受検者数	260	218	169	168	279
B型陽性者数 1)	3	2	2	1	1
C型陽性者数 2)	4	2	3	2	0
協力医療機関数	102	101	102	105	104

注 1) B型肝炎ウイルス検査において「陽性」と判定された人

2) C型肝炎ウイルス検査において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された人

エ. 肝炎ウイルスフォローアップ事業

B型肝炎ウイルス検査において「陽性」と判定された人及びC型肝炎ウイルス検査において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された人について、重症化の抑制を図るために、肝疾患専門医療機関への受診勧奨をし、適切な検査や治療等に繋げることを目的に、豊田市肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業を実施している。

表3 フォローアップ事業対象者数

同意年度	2	3	4	5	6
B型	14	19	22	14	12
C型	8	15	8	9	6
B型+C型	—	—	—	—	—
計	22	34	30	23	18

◆ 肝炎患者等医療給付事業

B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルスに起因する肝炎患者又は肝がん・重度肝硬変患者の治療にかかる医療費助成として、愛知県への進達事務等を行っている。

(1) B型・C型肝炎患者医療給付事業

インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療等にかかる医療費助成として、申請受付や愛知県への進達事務、受給者証の発送等を行った。

(各年度末現在)

年度	申請数				
	2	3	4	5	6
B型肝炎(新規)	8	21	26	18	13
B型肝炎(更新)	70	147	154	167	176
C型肝炎(新規)	28	28	35	30	23

注：新型コロナウイルス感染症の特例措置により、令和2年3月1日～令和3年2月28日に有効期間が満了する者は有効期間が1年間延長したため、一時的に申請件数が減少

(2) 肝がん・重度肝硬変患者医療給付事業

肝がん・重度肝硬変の入院治療又は肝がんの通院治療にかかる医療費助成として、申請受付や愛知県への進達事務、参加者証の発送等を行った。

(各年度末現在)

年度	申請数		
	4	5	6
肝がん（新規）	1	1	0
肝がん（更新）	—	1	1

◆ 結核予防

感染症法に基づき、定期及び接触者の健康診断を実施し、結核患者の早期発見に努めている。また、発見した患者の服薬支援を行うとともに接触者の健康診断の徹底を図ることで二次感染予防に努めている。

(1) 健康診断実施状況

ア. 定期健康診断

感染症法第 53 条の 2 の規定に基づき、学校、事業所、市町村長等が定期の健康診断を行った（表 1）。また、定期健康診断の確実な実施を図るため、学校長及び施設の長が行う定期の健康診断に要する費用（胸部エックス線撮影の経費）について同法第 60 条により補助を行った。令和 6 年度の補助対象数は 13 法人（25 施設）、うち、学校が 5 法人（5 施設）である。

表 1 定期健康診断実施状況

(令和 6 年度)

	対象人数	受診者 (A)	受診率	間接 撮影者数	直接 撮影者数	発見者数			
						結核患者 4)		予防内服 5)	
						数(B)	率(%)	数(C)	率(%)
総数	123,684	53,422	43.2	741	52,681	—	—	—	—
事業所従事者 1)	13,241	12,585	95.0	527	12,058	—	—	—	—
学生・生徒 2)	6,607	6,564	99.3	214	6,350	—	—	—	—
施設入所者	1,761	1,648	93.6	—	1,648	—	—	—	—
その他 3)	102,075	32,625	32.0	—	32,625	—	—	—	—

注 1) 事業所従事者は、医療機関・学校・介護老人保健施設・社会福祉施設の従業員

2) 学生・生徒は高校・大学等の入学時のもの

3) その他は 65 歳以上の者（肺がん検診・胸部エックス線検査受診者数）

4) 「結核患者」欄の率は、(B) / (A)

5) 「予防内服」欄の率は、(C) / (A)

イ. 接触者健康診断

患者家族等に対しては、同法第 17 条の規定に基づいて接触者の健康診断を行った(表 2)。

表 2 接触者健康診断受診状況

(令和 6 年度)

	対象人数 (人)3)	受診者(人) (A)4)	受診率 (%)	発見者数			
				結核患者 1)		潜在性結核感染症 2)	
				数(人)(B)	率(%)	数(人)(C)	率(%)
総数	96	93	96.9	1	1.1	3	3.2
患者家族	18	16	88.9	—	—	—	—
接触者	78	77	98.7	1	1.3	3	3.9

注 1)「結核患者」欄の率は、(B)／(A)

2)「潜在性結核感染症」欄の率は、(C)／(A)

3) 当該年度の勧告対象者(2 年間以上継続した検査対象者も含む。それ以外の者は初年度のみ計上する)

4) 当該年度に受診すべき回数を受診していない場合は計上しない。(ただし、検査の期間の影響で次年度に 2 回目の検査を実施する場合は、受診意向が確認されれば当該年度受診者に含む)

表 3 接触者健康診断検査項目別実施状況

(令和 6 年度)

	検 査 項 目				
	ツベルクリン 反応検査	IGRA 検査	胸部エックス 線検査	C T	喀痰検査等
総数(件)	—	101	11	4	1
患者家族(件)	—	19	6	—	—
接触者(件)	—	82	5	4	1

(2) 結核患者管理

ア. 結核患者発生状況

結核患者の発生状況は、表 4 及び図 1 のとおりである。なお、潜在性結核感染症は 10 名である。

結核患者及び潜在性結核感染症の医療費には公費負担が適応され、入院患者(同法 37 条)、通院患者(同法 37 条の 2)の別に、表 5 のとおり支出している。

表 4 結核発生状況

(令和 6 年)

年	豊田市								愛知県		全国	
	人口	新登録 患者数	うち 外国出 生者	罹患率	塗抹陽性 罹患率	死亡数	死亡率	全登録者	罹患率	塗抹陽性 罹患率	罹患率	塗抹陽性 罹患率
2	423,084	40	15	9.5	4.5	1	0.2	86	10.5	3.2	10.1	3.7
3	420,022	28	8	6.7	1.7	2	0.5	67	10.5	3.2	9.2	3.3
4	418,009	36	7	8.6	1.9	1	0.2	64	8.5	2.7	8.2	3.0
5	416,880	28	7	6.7	1.4	2	0.5	71	8.0	2.6	8.1	2.8
6	415,286	19	11	4.6	1.4	—	—	51	—	—	—	—

注 1)人口は毎年 10 月 1 日現在の推計人口である

2)新登録患者数は潜在性結核感染症を除く数である

3)「罹患率」及び「死亡率」は、各実数を人口 10 万対で除して算出した

4)「死亡数」は、死因が結核死であった者を計上した

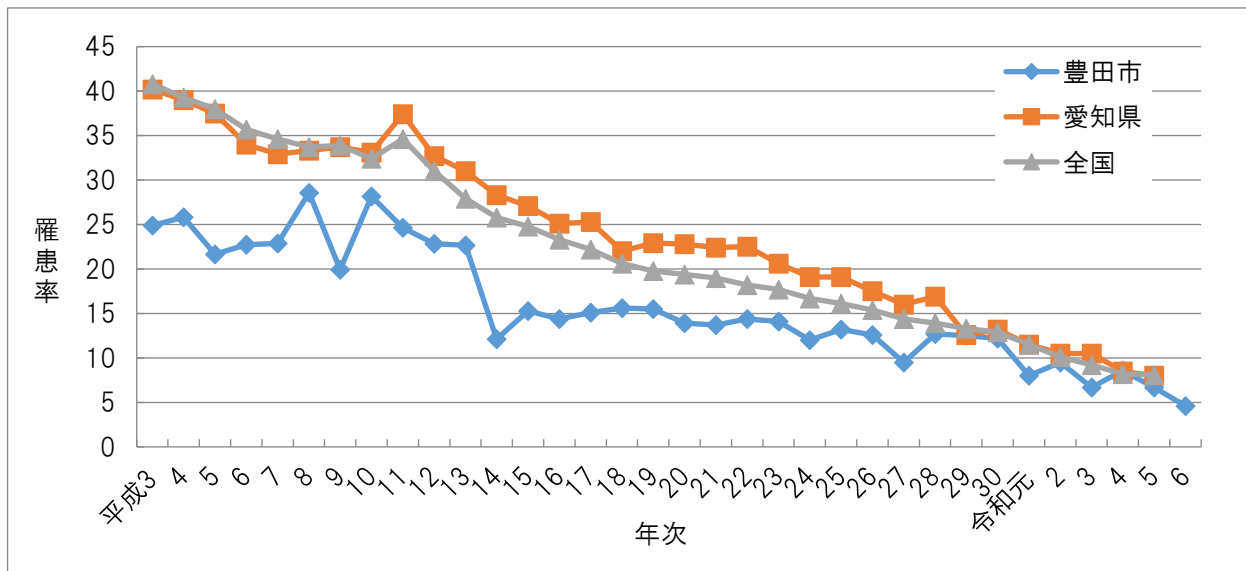
5)愛知県は名古屋市を除く

表5 結核医療費(公費分)の内容

(令和6年度)

	支払基金		国保		後期高齢		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
入院患者	9	942,342	—	—	9	427,063	18	1,369,405
通院患者	196	541,996	31	66,666	83	82,528	310	691,190

図1 新登録患者罹患率



注：平成17年からは合併後の罹患率

イ. 登録者の病状把握と精密検査

感染症法第53条の13の規定に基づき、結核治療終了後の経過観察者及び治療中断者等の登録者に対して、その再発防止を目的に胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施している。

表6 精密検査実施状況

(令和6年)

実施方法	精密検査		定期病状調査 3)	定期健康診断 4)	合計
	保健所健診 1)	医療機関 2)			
件数	6	91	16	5	118

注 1) 保健所健診：豊田地域医療センターで実施

2) 医療機関：通院先の医療機関で実施

3) 定期病状調査：医療機関等に対して患者の病状の照会を行い、精密検査の結果を確認

4) 定期健康診断：職場健診や特定健康診断等の健診結果を確認

ウ. 訪問指導等

患者が結核の治療に対して積極的に向かうことができるよう、保健師による家庭訪問や面接で相談、助言等の支援を行った。また、家族等に対しては感染・発病から守るために疫学調査を行うと同時に、正しい情報を提供し、不安の軽減を図った。

表 7 保健指導の内容・方法別実施状況

(令和 6 年)

	家庭訪問	所内面接	電話相談	地域 D O T S		
				薬局	施設	訪問等
患者実人数	44	10	—	7	3	2
延べ数	227	30	195	14	16	16

注 患者の確実な服薬を支援するために、薬局や施設等の地域支援者の協力のもと、治療完遂に向けて服薬支援を実施。地域支援者の報告書から、服薬・受診状況を把握し、患者・家族への助言を行った。

D O T Sとは、Directly Observed Ireatment Short Course(直接服薬確認療法)のことで、支援者が服薬を見守り治療を支援する方法

(3) コッホ現象

コッホ現象とは結核の感染を受けている人に B C G 接種を行った場合に、接種部位を中心に起こる反応である。コッホ現象は結核の感染を疑い、医療機関からの届出に基づき、コッホ現象対応マニュアルに沿って精密検査を実施するが、令和 6 年度実績は 0 件であった。

◆ 定期の予防接種

予防接種法に基づき、集団予防を目的とした A 類疾病(ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、日本脳炎、破傷風、結核、H i b 感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、水痘、B 型肝炎、ロタウイルス感染症)と、主に個人予防を目的とした B 類疾病(高齢者のインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、高齢者の肺炎球菌感染症)の予防接種を実施した。

また、昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日の間に生まれた男性を風しんの定期接種(風しん第 5 期)の対象者とし、令和 7 年 3 月 31 日までの 6 年間に限り抗体検査・予防接種を実施した。

(1) A 類疾病

ア. 予防接種率の推移

表 1 予防接種率の推移(定期予防接種のみ)

(単位: %)

年度	4	5	6
急性灰白髄炎(不活化ワクチン)
3 種混合(第 1 期初回)
3 種混合(第 1 期追加)
4 種混合(第 1 期初回)	104. 7	115. 7	12. 2
4 種混合(第 1 期追加)	95. 3	115. 1	111. 8
5 種混合(第 1 期初回)	—	—	88. 4
5 種混合(第 1 期追加)	—	—	5. 0
2 種混合(第 2 期)	79. 8	83. 8	84. 4

注: ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオのワクチンを合わせて「4 種混合」、ジフテリア

ア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブのワクチンを合わせて「5 種混合」、ジフテリア・百日せき・破傷風のワクチンを合わせて「3 種混合」、ジフテリア・破傷風のワクチンを合わせて「2 種混合」とする

: 急性灰白髄炎及び 3 種混合については、4 種混合への移行により対象者数の把握が困難なため計上しない

年度		4	5	6
麻しん風しん混合	第1期	99.6	94.5	94.1
	第2期	93.7	92.2	92.7

注：麻しん・風しんのワクチンを合わせて「麻しん風しん混合」とする

年度	4	5	6
日本脳炎（第1期初回）	104.8	101.1	97.7
日本脳炎（第1期追加）	137.9	101.2	103.7
日本脳炎（第2期）	133.3	103.4	97.6
B C G	104.7	99.5	100
子宮頸がん予防	8.8	8.5	33.1
水痘	94.2	97.9	99.0
B型肝炎	106.3	98.6	99.2

注：日本脳炎予防接種、子宮頸がん予防ワクチンの被接種者数に特例は含まない

：ヒブ及び小児用肺炎球菌ワクチンについては、算定方法が異なるため計上しない

：ロタウイルスワクチンについては、2種類のワクチンがありそれぞれの接種回数異なることから、分母となる接種対象者数を算出できないため計上しない

：接種率の算定において、分母となる接種対象人数を「当該年度の対象者数」としているため、統計上、被接種者数がこれを上回り100%を超過する場合があります

$$\text{接種率} = \frac{\text{当該年度の被接種者数}}{\text{当該年度の対象者数}} \times 100$$

○日本脳炎：厚生労働省の勧告により平成17年5月30日から日本脳炎予防接種の積極的勧奨の差し控えが行われたが、平成22年4月から3歳児に対して積極的勧奨を再開した。また、平成22年12月から、9歳から13歳未満の者において第1期(3回)が完了していない場合は、救済措置として未接種回数分を接種可能とした。(1期特例)。

平成23年5月から1期特例の対象を生後7歳6か月以降20歳未満に変更するとともに、第2期が完了していない者で、13歳以上20歳未満の者に対しても救済措置として接種可能とした(2期特例)(いずれも平成7年6月生まれ以降の者に限る)。なお、平成25年4月からは、1期特例、2期特例ともに対象が、平成7年4月2日生まれ以降の20歳未満の者に変更になった。

平成25年度に限り、行政措置として平成5年度、6年度生まれの者に対しても接種機会の確保に努めた(2期特例のみ)。

令和3年度については、全国的なワクチンの供給不足により、国において優先接種対象者(令和3年度中に3歳になる第1期初回接種対象者等)が設定された。

○子宮頸がん予防ワクチン：厚生労働省の勧告により平成25年6月から子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の差し控えが行われたが、令和3年11月26日から積極的勧奨を再開した。また、公平な接種機会を確保する観点から、勧奨の差し控えにより接種機会を逃した平成9年度～平成19年度生まれの女性に対して令和7年3月31日までの間、接種可能とする救済措置(キャッチアップ接種)を実施した。

イ. 令和 6 年度予防接種実施状況

表 2 急性灰白髄炎(ポリオ)

		対象者数	被接種者数	接種率(%)
初回	1 回目	...	—	...
	2 回目	...	1	...
	3 回目	...	1	...
追加		...	4	...
計		...	6	...

表 3 3 種混合(ジフテリア、破傷風、百日せき)

			対象者数	被接種者数	接種率(%)
第 1 期	初回	1 回目	...	—	...
		2 回目	...	—	...
		3 回目	...	—	...
	追加		...	—	...
計			...	—	...

表 4 4 種混合(ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ)

			対象者数	被接種者数	接種率(%)
第 1 期	初回	1 回目	2, 451	38	1. 6
		2 回目	2, 452	281	11. 5
		3 回目	2, 457	577	23. 5
	追加		2, 464	2, 754	111. 8
計			9, 824	3, 650	37. 2

表 5 5 種混合(ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ)

			対象者数	被接種者数	接種率(%)
第 1 期	初回	1 回目	2, 451	2, 403	98. 0
		2 回目	2, 452	2, 171	88. 5
		3 回目	2, 457	1, 935	78. 8
	追加		2, 464	123	5. 0
計			9, 824	6, 632	67. 5

表 6 2 種混合(ジフテリア、破傷風)

	対象者数	被接種者数	接種率(%)
第 1 期	...	—	...
第 2 期	3, 787	3, 197	84. 4

注：(別掲)予防接種法施行令第 1 条の 3 第 2 項に該当する者(長期療養児) 第 2 期 1 人

表 7 麻しん風しん混合

	対象者数	被接種者数	接種率(%)
第 1 期	2, 732	2, 570	94. 1
第 2 期	3, 230	2, 994	92. 7
計	5, 962	5, 564	93. 3

注：(別掲)予防接種法施行令第 1 条の 3 第 2 項に該当する者(長期療養児)

第 1 期 1 人、第 2 期 3 人

表 8 日本脳炎

			対象者数	被接種者数	接種率(%)
第 1 期	初回	1 回目	2, 873	2, 814	97. 9
		2 回目	2, 872	2, 799	97. 5
	追加接種		2, 883	2, 989	103. 7
第 2 期			3, 771	3, 682	97. 6
1 期特例	初回	1 回目	…	15	…
		2 回目	…	16	…
	追加接種		…	42	…
2 期特例			…	101	…
計			…	12, 458	…

注：(別掲)予防接種法施行令第 1 条の 3 第 2 項に該当する者(長期療養児) 第 2 期 1 人

表 9 BCG

対象者数	被接種者数	接種率(%)
2, 455	2, 456	100. 0

注：(別掲)予防接種法施行令第 1 条の 3 第 2 項に該当する者(長期療養児) 1 人

表 10 子宮頸がん予防ワクチン

		対象者数	被接種者数	接種率(%)
1 回目		9, 958	1, 576	15. 8
2 回目		9, 958	1, 227	12. 3
3 回目		9, 958	493	5. 0
特例	1 回目	...	4, 170	...
	2 回目	...	3, 746	...
	3 回目	...	3, 533	...
計		...	14, 745	...

表 11 ヒブワクチン

	対象者数	被接種者数
1 回目	3, 018	13
2 回目	2, 736	243
3 回目	2, 922	537
4 回目	3, 380	2, 193
計	12, 056	2, 986

表 12 小児用肺炎球菌ワクチン

	対象者数	被接種者数
1 回目	3, 030	2, 413
2 回目	2, 708	2, 412
3 回目	2, 811	2, 475
4 回目	3, 662	2, 441
計	12, 211	9, 741

表 13 水痘

	対象者数	被接種者数	接種率 (%)
1 回目	2, 605	2, 580	99. 0
2 回目	2, 597	2, 569	98. 9
計	5, 202	5, 149	99. 0

注：(別掲)予防接種法施行令第 1 条の 3 第 2 項に該当する者(長期療養児) 2 回目 1 人

表 14 B型肝炎

	対象者数	被接種者数	接種率 (%)
1 回目	2, 455	2, 426	98. 8
2 回目	2, 453	2, 422	98. 7
3 回目	2, 460	2, 461	100. 0
計	7, 368	7, 309	99. 2

注：(別掲)予防接種法施行令第 1 条の 3 第 2 項に該当する者(長期療養児) 3 回目 3 人

表 15 ロタウイルスワクチン

		対象者数	被接種者数
ロタリックス	1 回目	...	683
	2 回目	...	759
ロタテック	1 回目	...	1, 688
	2 回目	...	1, 602
	3 回目	...	1, 525
計		...	6, 257

表 16 風しん第 5 期

対象者数	抗体検査件数	予防接種件数
39, 944	905	179

注：接種期間 令和 6 年 2 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

(2) B類疾病

65 歳以上の者、60 歳以上 65 歳未満の者で心臓、腎臓又は呼吸器の機能及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいをするものに対して、インフルエンザ、新型コロナウイルスワクチン接種を実施した。また、65 歳の者、60 歳以上 65 歳未満の者で心臓、腎臓又は呼吸器の機能及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいをする者に対して、高齢者用肺炎球菌ワクチン接種を実施した。

表 17 インフルエンザ

対象者数		被接種者数	接種率 (%)
65 歳以上	103, 867	59, 825	57. 6
65 歳未満	172	75	43. 6
計	104, 039	59, 900	57. 6

注：接種期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 1 月 31 日

表 18 新型コロナウイルス

対象者数		被接種者数	接種率(%)
65 歳以上	103, 867	28, 199	27. 1
65 歳未満	172	39	22. 7
計	104, 039	28, 238	27. 1

注：接種期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 1 月 31 日

表 19 高齢者用肺炎球菌

対象者数		被接種者数	接種率(%)
65 歳	4, 206	1, 089	25. 9
60 歳以上 65 歳未満	155	11	7. 1
計	4, 361	1, 100	25. 2

◆ 任意の予防接種

感染症の予防及びまん延を防止するために、ワクチンで防げる疾患に対し、任意予防接種の費用の一部助成を実施している。また、平成 31 年 4 月から医療行為により免疫を失った子の再接種費用の助成を実施している。令和 4 年 4 月から子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより定期接種を逃した方で、すでに自費で接種を受けた方に対して接種費用の償還払いを令和 7 年 3 月 31 日まで実施した。

令和 5 年 4 月からおたふくかぜの助成回数を 2 回に拡大し、带状疱疹ワクチンの助成を新たに実施した。さらに中学 3 年生、高校 3 年生等に対してインフルエンザ予防接種費用の助成を実施した。

(1) 豊田市風しん対策事業

表 1

抗 体 検 査	
対象者	以下の 1 から 3 のいずれかに該当する者 ^{注 1)} 1 妊娠を希望する女性 2 妊娠を希望する女性の配偶者（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む）などの同居者（生活空間を同一にする頻度が高い者）、又は、風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者などの同居者 3 30 歳以上 50 歳未満の男性
助成金額	6, 750 円（自己負担なし）
助成回数	1 回
検査人数	765 人

注 1) いずれも、過去に風しん抗体検査を受けたことがある者、明らかに風しんの予防接種歴がある者、検査で確定診断を受けた風しんの既往歴がある者若しくは定期予防接種対象者（昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性）は除く

ワ ク チ ン 接 種	
対象者	上記抗体検査を受け、抗体価が低いと確認できた者
ワクチンの種類	A 麻しん風しん混合ワクチン B 風しんワクチン
助成金額	A 5, 000 円 B 3, 000 円
助成回数	1 回
被接種者数	麻しん風しん混合 246 人 風しん 70 人

(2) 豊田市麻しん対策事業

表 2

抗 体 検 査	
対象者	以下の 1 及び 2 に該当する者 1 1 歳以上の者 2 予防接種法に基づく定期予防接種対象者、麻しん既往歴がある者及び既に麻しんの予防接種（定期任意問わず）を 2 回接種したものを除く
助成金額	2,650 円（診療報酬に準ずる検査実施料・判断料を含む）
助成回数	1 回
検査人数	461 人

ワ ク チ ン 接 種	
対象者	原則、上記抗体検査を受け、医師により予防接種が必要と判断された者
ワクチンの種類	A 麻しん風しん混合ワクチン B 麻しんワクチン
助成金額	A 5,000 円 B 3,000 円
助成回数	1 回
被接種者数	麻しん風しん混合 143 人 麻しん 3 人

(3) 豊田市任意予防接種費用助成事業

表 3

	対象者	助成金額	助成回数	被接種者数
おたふくかぜ	1 歳以上小学校就学前 (平成 29 年 4 月 2 日生以降の子)	2,000 円	上限 2 回	4,477
帯状疱疹	50 歳以上の者	水痘ワクチン 4,000 円/回（上限 1 回）		479
		帯状疱疹ワクチン 10,000 円/回（上限 2 回）		5,895

(4) 豊田市特別の理由による任意予防接種費用助成事業

表 4

助成人数	2
------	---

(5) 子宮頸がん予防ワクチン自費接種者への償還払い

表 5

助成人数	17
------	----

(6) インフルエンザ予防接種費補助金

表 6

助成人数	2,511
------	-------

◆ 環境衛生

衛生の確保が必要な施設について、営業の許可、変更、廃止等の届出を受理するとともに、立入検査を行い、構造設備に関して必要な措置を命ずるなど各施設の衛生保持等について監視指導を行っている。

また、健康被害を未然に防止するため、家庭用品の化学物質の検査を実施している。

(1) 環境衛生関係営業施設の衛生

環境衛生関係営業施設については、旅館業法、公衆浴場法、興行場法、理容師法、美容師法、クリーニング業法に基づき、各施設の衛生保持や自主管理状況等について監視指導を行った。

表 1 営業施設及び監視状況 (令和 6 年度末現在)

	総数	旅館	公衆浴場	興行場	理容所	美容所	クリーニング所 (取次所含む)
施設数	1,244	89	54	9	295	627	170
監視延べ件数	265	35	24	2	69	128	7

(2) 特定建築物の衛生

建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、店舗、事務所等で多数の者が利用し、その維持管理について衛生の確保が特に必要な施設について、監視指導を行った。

表 2 特定建築物施設及び監視状況 (令和 6 年度末現在)

	総数	興行場	百貨店	店舗	事務所	学校	旅館	その他
施設数	159	3	26	11	87	7	13	12
監視延べ件数	40	—	3	2	28	2	4	1

(3) 墓地・火葬場・納骨堂

墓地、埋葬等に関する法律に基づく墓地、火葬場及び納骨堂の経営許可等にあたって、公衆衛生、その他公共の福祉の見地から管理運営が支障なく行われるよう指導を行った。

表 3 墓地、火葬場及び納骨堂の状況 (令和 6 年度末現在)

	墓地	火葬場	納骨堂
施設数	3,629	1	19

(4) 古瀬間聖苑利用実績

墓地、埋葬等に関する法律に基づき、死体、体の一部等の火葬を行った。

表 4 古瀬間聖苑火葬件数 1)

年度		2	3	4	5	6
合計		3,790	4,026	4,434	4,504	4,592
豊田市	大人	3,157	3,333	3,702	3,755	3,844
	子ども	6	10	3	6	4
	その他 3)	87	78	81	76	80
みよし市	大人	364	402	398	443	413
	子ども		—	1	3	1
	その他 3)	3	9	4	7	9
圏域外 2)	大人	150	188	237	211	233
	子ども	—	2	3	—	1
	その他 3)	6	4	5	3	7

資料：福祉部 やすらぎ福祉総務課

注 1) 火葬件数は、大人及び子どもの場合は死亡者、その他の場合は利用者の住所に基づき集計

2) 圏域外とは、豊田市及びみよし市以外の市町村をいう

3) その他とは、身体の一部、死産児、胞衣、産汚物等をいう

(5) 水道施設

水道法に基づく専用水道及び簡易専用水道に対し、衛生的で安全な飲用水が供給されるよう、適正な維持管理について指導した。

表 5 水道施設の現状及び監視指導状況 (令和 6 年度末現在)

	総数	専用水道	簡易専用水道
施設数	620	19	601
監視延べ件数	14	4	10

(6) プールの衛生

愛知県プール条例に基づいて、プールにおける公衆衛生を保持するため、その設置及び維持管理の適正を図るよう、監視指導を行った。

表 6 プール設置状況及び監視状況 (令和 6 年度末現在)

	総数	学校	営業用	その他
施設数	127(17)	107(1)	18(15)	2(1)
監視延べ件数	59	45	14	—

注：()内は、通年プール施設数の再掲

(7) 温泉

温泉利用の適正を図るため、温泉法に基づき温泉を利用している施設(公衆浴場、旅館業等)の指導を行った。

表 7 温泉の状況 (令和 6 年度末現在)

温泉利用施設数	22
監視延べ件数	7

(8) 家庭用品

上着、下着等の繊維製品、洗浄剤などの家庭用品に含まれる化学物質による健康被害を防止し、安全性の確保を図るため、家庭用品の試買試験検査を実施した。

表 8 検査の状況 (令和 6 年度)

検査件数	22
基準違反件数	—

◆ 住環境衛生

住宅構造の気密化や生活様式の変化に伴う、刺咬被害・アレルギーの原因であるダニ等の発生やホルムアルデヒド等各種化学物質による室内環境汚染についての相談を受けている。

衛生害虫の駆除については、発生源への対策や殺虫剤の使用方法等について住民への啓発を行っている。

住環境衛生に対する相談：296 件